

洛星新聞編集局
京都市北区小松原南町
TEL④2334
上林紙業KK
TEL⑤7844

局 員
募 集

樂しくやろう

必要な積極的協力

中間業者も終り、後は記念祭という大きな行事が待っている。この一週間はその準備にどこまじりこも大わらわ、出来るだけ楽しく、愉快にやろうと横着心している。そこで、記念祭の準備の様子、計画などを展望してみた。

今年も例年通り記念祭が十月十日から一週間の間に亘って行われる。

今年度のスケジュールは表の通りだが、ただいつもと違うのはシークレットがなくなり、その代りに映画をすることになったことである。落星の教育方針に合わないというのがその理由だろうだ。

生徒会では最初、シークレットと分科会（同じ趣味の者同志が集って語り合い、何かを行う）とを学校側に提出していたが、両方とも拒否されたので、その空いた所に何を行うかで、各クラスごとに意見を出した結果、落星で映画鑑賞を行うということに決定し、学校側の承諾を得た。

今年の記念祭はあらゆる方面において従来の力べを突き破り、新しい、趣の変わったものを取り入れている。マンネリ化した記念祭を一新しようと、生徒会執行部でも連日遅くまで残り、一生懸命である。その努力を褒めるために、生徒会員の積極的な協力はある。その最大の行事である落星でもない。

一年の最大行事である落星に、是非成功させなければならぬ、本当に意識のあるものにするためにも、生徒会執行部

美しい協力の精神

前田吉宣

る今当時の校舎の利用敷要を挙げ
て、その図面案が講堂(約三年)等
に利用され入学式から開講大会
、英語講演大会、英語コンテスト
、スポーツにおもひ、雑の汚れ等、
々若し者のフシウな点を鋭く追
求、シツタされたものである。又
改築が進められたように記憶
今でこそ夏には開講シヤツでもよ
い。

は関連の知くいつも演技に参加したものである。全く家族の密着感に包まれ楽しい一日であったことは私の脳裡を去らない。

死した時には自分のあらゆる物質的、精神的援助を与え最後まで願っていた彼の努力友情を通え聞き、私達大いに感激をしたので

演劇は去年よりも二つ少なくなつた。萬三と重母がやゝなくなつた。

そうだが、今度は中学の方で足なくなつた。そこで、博識部では中止し、文化祭の一回演劇からスタート始めるそうである。随時でも足

学校側に対する不満をそのまゝに生徒が持つて文化祭に、臨むということがあれば結果は失敗に
るのはあきらかだから。ジュー

クリスマス行事ありとあらゆる行事が行われ、教員の数も少なく校長を連任講師を含めて十四名で現第一副校長を職員室とした。教員は各組三五名程度の小人数で校長室から呼出しがあつてお説教、生徒が騒ぐと補導部長から生

並に、洛星の歴史を築けないのだと強い信念に燃え、非常な意欲に燃え、観劇に運動に大いに關んでゐた。二期の終り運動會について、楽しい集いは何といつてもクリス

一位を學校にて得たことである。後日演劇をラジオ放送にて市内に放送したことがある。当時今は松竹映画の俳優で人気俳優になつてゐる津川雅彦、当時加藤雅彦といふ

す。洛星の良き友は卒業後もたゞえ在学年数は少なくとも席を同じくしたことによって互に助け合つて行く所の本當に、美しい姿、これが洛星の生徒の姿ではないでしょうか。(写真見初期中学校舎)

つたため、その他は全部決定した。

中一 ドロボー仙人
中三 嵐の兄弟
中三 北風童子
高一 カンカラ

休館中に、大いに思いを傾けて
らったつもりなのに、まだこん
有様とはなきげない。文化素を
り染しにするためにも、情がない
な思いをしないように心がけて
しいものだ。

何か面白い関係である。▼記念歌も今年に募集したものを含め、今までの歌から一曲選び固定化することと決定した。これで愛唱されるようになるとういが。

体育祭

われるが、もし雨が降れば十二日に延期される。

なおこれで一人一種目は必らず競投に出られることになった。

展示会

生物、埋没、切手、写真、美術、天文、歴史、山岳、無線の以上九クラブである。埋没は演劇をしないといふ。

店 売

のは売店であらう。今年
は新しくカレーライ
スが登場する。中の肉
は保証付、馬肉や鯨
肉は入っていない。心
とんとん食べて下さい。

頃の相次ぐ物価値上りで、ウドン玉も上り、二十五円から三十円に値上げ、スシは白円、カレーライスは七十円である。その他に、アイスクリーム、ジュースなども高られる。記念祭の準備期間中はウ

以上五つである。だから貧の方
中学、高校をさつちやにして貧
与えることになった。個人費も
衆通り行かうである。少しさ
しくなったようだが、出演者は
れを力バーして熱演してくる。

祭・体育祭をかねた文化祭が行
 例のごとく本年も記

記念祭スケジュール

16日	体 育 祭		
17日	休 み		
18日	開 会 式、謡	曲、弁論大会	
		●演	劇
19日	演 劇		
		●オ ー ケ ス ト ラ	
20日	合 唱 コ ン ク ー ル		
		●映画鑑賞	ファイヤー
21日	ミ サ、閉 会 式		
22日	休 み		
23日	父兄招待		

舞台物

その日は一時からなので、もちろん全部参加出来る、演劇の二位、二位、三位の賞をも与えることになった。今年のも大きな特徴は高橋主の弁七に限り、二位、それに、クラブからではな

父兄招待

日。日曜日以外の日は、仲々出て来られず、へまで出席者も少なかつたが、今年はずつと盛

るがなうない

生徒の声を聞いてみるとあ
くなくてしまえば文化祭と
のは堅いものばかりで面白
いというのが多い。しかし学
校で押しきっている▼わ

トリ であ が こと

ツシの悪い点である秘密主義。都合もあるかもしれない。まわりにも生徒にとっては何かわからなさすぎる。このカトリックの大きな欠点は

大いにお互いに考えさせられる話である。ホームルームにしたって五、六人がひっついて行っている。それが文化祭では、高、中、全クラス十二組の出陣とその規模の大きさに驚きかつあきれ、うらやましく思つた。我々も文化祭の時には、素晴らしいのやりましよう。

文化祭は来月九日体育祭から開始、向う四日間行われる。各クラスは模擬店を作りがっちりと出費をかせごうと、イナリ寿司、わらび餅を作つて手ぐすねひいて待ちけている。

宗教について尋ねて見たら、宗教研究会というのが去年まであった。去年の文化祭で、無事、

論者が多いのをうである。

学級販売店ではアイスクリームうどん、学用品を売っていた。非常に便利だをうた。食堂に大いに精力を感じ、洛北の味をかみしめようと思つたが都合により出来なかつたのを残念に思つている。

さて最も重要な事、洛北の御印象を聞いて見た。認識は赤いなかつたが、大方理解しているようだった。非常にきびしい学校だと思われ少し悔めたい気がする。洛北の授業を話をしてはならないといふことは理解では全くおかないものだ。我々のやかしさを見せたらきつと卒倒するぞといふ

